

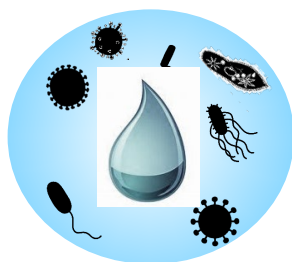
次世代型紫外線水殺菌装置を用いたSPF人工孵化ブリ種苗の開発

(SPF : Specific Pathogen Free (特定の病原菌に無感染))

株式会社マルハニチロ養殖技術開発センター

実施期間：令和3年11月～令和6年3月

現状の課題



海水中には地域別に様々な
菌・ウイルスが存在

海水と一緒に
種苗を運搬



魚病が全国
へ伝搬

成果概要図

海水のUV 紫外線水殺菌装置
殺菌処理 アトランティウム・HODシステム



引用元：島貿易株式会社カタログ

- ・中圧紫外線ランプにより様々な波長を海水に照射
- ・透過率・流量の監視による安定した照射強度と殺菌性能
- ・インバーター制御による正確な殺菌と省エネ・省コスト

- ・陸上で生産されたブリ種苗のSPF化に成功！
- ・飼育水が改善されたことにより生産性が向上！
(魚病による減耗の減少、飼育密度の増加)



安全な飼育水と種苗
を供給

種苗由来の魚病拡大
防止に寄与



今後の取り組み

みどりの食料システム戦略の「2050年養殖魚の人工種苗比率
100%の実現」に向けて、人工種苗の健苗性・優位性の向上、
及びSPF人工種苗の増産を目指す。

